

いきいき弥小っ子

No.21 (1月22日号)

大雪、始業式から2週間

弥彦小学校 校長 石黒和仁

「記録的な暖冬少雪が続き、過ごしやすいことは確かです。しかし、私としては、雪国としての風情がない、雪遊びができないといった残念な気持ち..。」とは、今年の学校だより(1月24日号)の冒頭の言葉です。一転しての大雪。風情どころではなかったかと存じます。自他共に、お見舞い申し上げます。

さて、始業式から2週間がたちました。臨時休校を挟みましたが、おかげさまで子どもたちは元気です。全般的に落ち着いて生活し、意欲的に学習に取り組んでいます。内外でよく遊んでいます。素晴らしいことです。特に、6年生は、卒業文集の制作が佳境です。5年生は、6年生を送る週間と6年生を送る会の準備を進めています。この勢いで、全学年が進学・進級に向けてがんばってほしいものです。

<2月の主な予定>

- 1日(月) 分散全校朝会(1・2・3年と4・5・6年)
- 2日(火) 小中連携・一貫教育推進協議会 全校5時間
- 3日(水) PTA理事会
- 4日(木) 分散児童集会(2・4・5年)
- 5日(金) 給食費諸費納入日 委員会活動⑫(5年生新配属)
- 8日(月) スクールソーシャルワーカー相談日 エンジェル訪問
- 10日(水) 登校指導 4年放射線教室(理科)
- 11日(木) 建国記念の日
- 12日(金) 新入生保護者説明会 クラブ⑦最終
- 16日(火) スクールカウンセラー来校日 14:00-16:45
- 18日(木) 児童集会(委員会引き継ぎ)
- 22日(月) スクールソーシャルワーカー相談日 6年生を送る週間~26日
- 23日(火) 天皇誕生日
- 25日(木) エンジェル訪問 音楽集会
- 26日(金) 6年生を送る会(3、4限) 委員会活動⑬(新体制)



私事です...自分不在の中、近所の方(飲み仲間)が、上越の自宅のカーポートの雪下ろしと破損したサンルームの補修をしてくれました。人の優しさに触れ、心が温かくなった厳冬です。



弥彦小学校では、一人一人の教育的ニーズに合わせて、保護者の方と相談しながら支援体制を整えています。

特別支援教育とは

- 障害のある子どもたちだけでなく、すべての子どもたちが対象。
- 一人一人をより大切にし、その子に合った指導や支援を行うもの。

例えば・・・

- 学習の課題や宿題の量を相談することができます。
- 担任の他に職員が、授業で子どもたちをサポートします。
- 専門機関と連携したり、相談窓口を紹介したりしています。
 - ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー
 - ・各種医療機関、専門機関
- 個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、保護者と学校、職員間で情報を共有し、支援にあたっています。

特別支援学級や通級指導教室を利用している子どもたちもいます。

まなびの教室 (特別支援学級)

少人数の方が集中できる子や、自分に合ったやり方・ペースで学習を進めたい子が学習しています。落ち着いて学習することができ、分からないところも丁寧に学習していきます。また、生活全般やコミュニケーション面などの支援も行っています。

ことばの教室(通級指導教室)

うまく言えない言葉がある子や、スムーズに話すことが苦手な子が、正しい発音や自然な発声で話ができるように練習しています。週に1時間程度、教師と1対1で学習します。

すまいる教室(通級指導教室)

気持ちを伝えるのが苦手、コミュニケーションスキルを高めたい、特定の学習が苦手…などの悩みを克服するための教室です。週に1時間程度、教師と1対1、または小集団で学習します。

学校では、子どもたちがスムーズに学校生活を送ることができるよう、温かく見守っていきたいと考えています。もし、お子さんの様子で心配なことや、気になることがありましたら、いつでも学級担任や学年主任にご相談ください。家庭と学校で情報を共有し、よりよい支援について相談しながら進めていきたいと思っております。適切な支援を早く行うことで、子どもたちの持っている力をよい方向へ伸ばしていくことができます。手を取り合って進めていきましょう。

質問・相談窓口

特別支援コーディネーター 竹内あづさ 石田こずえ

(弥彦小94-2043)